

開講年度：2026

科目名	皮膚 Dermatology	題目（副題）	皮膚科学
担当教員、教員連絡先内線	奥山 隆平 小川 英作・岸田 大	5274	
学年、講義期間、曜日・時限	3年次 前期（随時）	月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 水曜・5時限 水曜・6時限 金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限	
単位数、講義室	1 単位 医学科第2臨床講堂	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ 授業達成目標 M21カリ・医学 患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 ⇄ 皮膚疾患にともなう全身的な症状、および全身疾患の皮膚表現としての皮膚疾患を理解する。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。 ⇄ 発疹の捉え方、各種皮膚疾患の原因、症候、診断および治療について、体系的に理解する。 M26カリ・医学、M25カリ・医学、M24カリ・医学、M23カリ・医学、M22カリ・医学 ≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。 ⇄ 発疹の捉え方、各種皮膚疾患の原因、症候、診断および治療について、体系的に理解する。 ≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。 ⇄ 皮膚疾患にともなう全身的な症状、および全身疾患の皮膚表現としての皮膚疾患を理解する。		
臨床実習前の到達目標	・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・問題志向型医療記録形式を用い、最低限の診療録を作成できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。		
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	原発疹、続発疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、母斑、母斑症、色素異常症、薬疹、蕁麻疹、光線過敏症、紅斑症、紅皮症、血管炎、自己免疫性水疱症、膿疱症、全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、皮膚癌、悪性黒色腫、皮膚悪性リンパ腫、皮膚細菌感染症、真菌症、皮膚結核、ハンセン病、梅毒、尋常性乾癬、扁平苔癬、皮膚の構造、光線テスト、発汗検査法、プリックテスト、皮内反応、パッチテスト、ダーモスコピー、デルマドローム 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	D-3-1) 皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理を学ぶ。 D-3-2) ①皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法（Darier 徴候）、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）②皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）③微生物検査法（検体採取法、苛性カリ<KOH>直接鏡法）を概説できる。 D-3-3) 各種の発疹の意味を正しく理解し、皮膚所見を正確に記載できる。 D-3-4)-(1)湿疹反応を説明できる。湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。 D-3-4)-(2)蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症、皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。 D-3-4)-(3)皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。 D-3-4)-(4)薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。 D-3-4)-(5)自己免疫性水疱症の病因・病態と分類、膿疱症の種類と病態、水疱症の鑑別のための検査法を説明できる。 D-3-4)-(6)尋常性乾癬、扁平苔癬と Gibert 薔薇色粧糠疹の病態、症候と治療を説明できる。魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。 D-3-4)-(7)①皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。②皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。③皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。④梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。⑤皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。⑥後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。 D-3-4)-(8)①母斑・母斑症の種類を列挙できる。②皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。③皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。④基底細胞上皮腫(癌)、有棘細胞癌、悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。 D-3-4)-(9)①毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。②爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。		

テキスト，教材，参考書	参考書を以下に挙げる。 1) あたらしい皮膚科学（中山書店） 2) 標準皮膚科学（医学書院） 3) 皮膚科学（金芳堂） 4) 皮膚科学（文光堂）
履修上の注意	授業で供覧した臨床写真の配布はできない。配布資料および上記の参考書などを適宜用い、主要な皮膚疾患の概念や診断、治療、臨床所見などを自学自習することを勧める。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	講義スライドの写真撮影は、個人情報保護の理由により厳重に禁ずる。
成績評価の方法	試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。 各授業での知識定着度を確認するため、適宜ミニテストを行います。 各講義の終わりにミニテストを実施する。 全講義の終了後（最終日）に期末試験を実施する。 ミニテスト（30%）と期末試験（70%）の合計で、60%以上を合格とする。
成績評価の基準	90－100点：秀　80－89点：優　70－79点：良　60－69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	参考書の該当範囲を予習しておくこと。 本授業の単位修得には21時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	講義では種々の疾患の臨床写真が供覧される。皮膚疾患では、「百聞は一見にしかず」といった面もあるので、積極的に授業に参加してほしい。 質問等は授業時間内またはオフィスアワーに行うこと。 連絡先　皮膚科医局（0263-37-2647） 小川　英作（講師） オフィスアワー　15－17時（月曜）

授業日	第 1 回	6月29日(月 4)	SB0s	D-3-4)-(2) D-3-4)-(3) D-3-4)-(5) D-3-4)-(6) F-1-12)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	各種の発疹の意味を正しく理解し、皮膚所見を正確に記載できるよう、病変を臨床・病理学的対応関係の視点から認識できるようにする。			原発疹と続発疹の定義と違いを説明できる。 斑の種類を知り、それぞれの色調が生じる病理組織学的背景を説明できる。 膨疹の形態学的定義と経過の特徴を説明できる。 隆起性病変である丘疹、結節、局面の定義と相違点について説明できる。 水疱、膿疱、嚢腫、膿瘍の定義と相違点を説明できる。 鱗屑と痂皮の定義と相違点を説明できる。 びらん、潰瘍、癬痕、萎縮の定義を説明できる。 角化と亀裂、線維化と硬化の定義を説明できる。 紅皮症、掻痒症とは何か説明できる。 苔癬と苔癬化の定義と相違点を説明できる。 疱疹、天疱瘡、膿疱疹、皰疹疹、魚鱗癬の定義を説明できる。 livedo（網状皮斑）、多形皮膚萎縮の定義を説明できる。 発疹の分布、存在状態を表す用語（散在、集簇、帯状、環状、蛇行状、列序性など）の定義を説明できる。
担当	高沢裕子			
授業日	第 2 回	6月29日(月 5)	SB0s	D-3-4)-(6)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	乾癬とその類症の病態生理と治療法を学ぶ。正常表皮の角化の分子機構を理解し、遺伝性角化異常症の病態を学ぶ。			尋常性乾癬、膿疱性乾癬、関節症性乾癬の臨床的特徴を説明できる。 尋常性乾癬の病理組織所見とその病態を説明できる。 乾癬の治療法を説明できる。 扁平苔癬の臨床病理学的特徴を説明できる。 正常表皮の角化の分子機構を説明できる。 遺伝性の角化異常症を列記し、それらの遺伝子異常と病態を説明できる。
担当	奥山隆平			
授業日	第 3 回	6月29日(月 6)	SB0s	D-3-4)-(8)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	1) メラノーマと間葉系腫瘍を中心に診断と治療の概要を学ぶ。 2) 光線による皮膚障害について診断、治療を学ぶ。			悪性黒色腫の臨床的特長とその診断、鑑別の要点を説明できる。 悪性黒色腫の予後と治療法について説明できる。 代表的間葉系腫瘍を列挙し、その臨床的特長を説明できる。 光線による皮膚障害について説明できる
担当	面高俊和			
授業日	第 4 回	7月 1日(水 5)	SB0s	D-3-4)-(5)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	1) 水疱症の病態、診断、治療方法について学ぶ。 2) 膿疱症の病態、診断、治療方法について学ぶ。			表皮細胞間と表皮細胞基底膜間の結合状態を組織学および分子構造的に説明できる。 中毒、感染症、自己免疫アレルギー疾患、先天性疾患、代謝性疾患に属する疾患の中で、水疱がみられる疾患名を挙げ、臨床的な鑑別点を説明できる。 自己免疫性水疱症の病態、臨床的差異、診断方法、治療法について説明できる。 先天性表皮水疱症の病態、臨床的差異、診断方法について説明できる。 中毒、感染症、自己免疫アレルギー疾患に属する疾患の中で、膿疱がみられる疾患名を挙げ、臨床的な鑑別点を説明できる。 掌跖膿疱症の病態、検査、治療法について説明できる。
担当	枝光智大			
授業日	第 5 回	7月 1日(水 6)	SB0s	D-3-4)①② D-3-4)-(2)③
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	湿疹・皮膚炎群の疾患について、その原因、病態、症状、診断と治療を学ぶ。皮膚掻痒症の病因、かゆみの発生機序を理解し、治療法を学ぶ。			湿疹反応を説明できる。 接触皮膚炎の原因、発症機序、および原因特定の検査法を説明できる。 アトピー性皮膚炎の臨床的特徴、診断と治療を説明できる。 アトピー性皮膚炎の合併症を説明できる。 その他の湿疹・皮膚炎群（脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。 皮膚掻痒症の病因と病態を説明できる。 かゆみの発生機序を概説し、かゆみを生じる疾患を列挙できる。
担当	木庭幸子			
授業日	第 6 回	7月 3日(金 1)	SB0s	E-4-1)① E-4-3)-(1) E-4-3)-(3) E-4-3)-(4)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	主要な膠原病の病態生理を理解し、症候、とりわけ膠原病に見られる発疹の特徴を学ぶ。			自己抗体の種類と発疹の関係を説明できる。 レイノー症状を説明し、原因疾患を列挙できる。 網状皮斑を説明し、原因疾患を列挙できる。 全身性エリテマトーデスの病態生理、発疹の特徴を説明できる。 シェーグレン症候群を概説できる。 抗リン脂質抗体症候群の病態生理と発疹の特徴を説明できる。 強皮症の病態生理、症候、皮膚硬化の評価法を説明できる。 皮膚筋炎・多発筋炎の症候と診断を説明できる。
担当	木庭幸子			
授業日	第 7 回	7月 3日(金 2)	SB0s	D-3-4)-(4) D-3-4)-(2)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	薬疹、蕁麻疹の病態を理解し、これらの疾患を正確に診断するための検査法を学ぶ。さらに、蕁麻疹についてはその病態に基づいた治療法を学ぶ。			薬疹の病型分類、とそれぞれの病型を起こしやすい薬剤を説明できる。 重症薬疹（Stevens-Johnson症候群、TEN、薬剤誘発性過敏性症候群）について、その臨床症状の特徴と病態を説明できる。 薬疹の原因薬剤の同定法を説明できる。 蕁麻疹の病態を説明できる。 蕁麻疹の病型分類を説明できる。 蕁麻疹の治療法を説明できる。
担当	奥山隆平			
授業日	第 8 回	7月 3日(金 3)	SB0s	D-3-4)-(8)
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	上皮系皮膚腫瘍と皮膚悪性リンパ腫の特徴および診断治療の概要を修得する。			皮膚腫瘍発生における日光紫外線の重要性を説明できる。 有棘細胞癌の診断と治療について説明できる。 基底細胞癌の診断と治療について説明できる。 乳房外Paget病の診断と治療について説明できる。 歯状息肉症やその他の皮膚悪性リンパ腫の診断と治療について説明できる。 代表的な皮膚の良性腫瘍について診断と治療のポイントを説明できる。 色素性乾皮症の病態を説明できる。
担当	奥山隆平			

授業日	第 9 回	7月 7日(火1)	SB0s	D-3-4)-(7) D-3-4)-(9)①②
講義室	医学科第2臨床講堂			表皮、毛、皮脂腺、アポクリン汗腺、エクリン汗腺の構造上の関係を略図に書いて説明できる。 爪の構造の断面図をかくことができ、それぞれの部位について説明できる。 粘膜と皮膚の違いを説明できる。 毛の構造異常を列挙できる。 脱毛症の分類、原因、治療を説明できる。 汗腺、皮脂腺の疾患の鑑別、治療法を説明できる。 爪甲異常と全身性疾患の関係をそれぞれ列挙できる。 爪甲疾患の原因、病態、治療を説明できる。 粘膜疾患の原因、治療、全身性疾患との関係について説明できる。
G10	毛、汗腺、皮脂腺、爪、粘膜の構造を理解する。その構造に伴って特異的に発症する疾患の病態、臨床、診断および治療について学ぶ。			
担当	小川英作			
授業日	第 10 回	7月 7日(火2)	SB0s	E-4-3)-(2) E-4-3)-(3) E-4-3)-(4)
講義室	医学科第2臨床講堂			全身性エリテマトーデスの病態、症候、診断と治療および関連臓器障害を説明できる。 全身性強皮症の病態、分類、症候、診断および関連臓器障害を説明できる。 関節リウマチの病態生理、症候（関節外症状を含む）、診断、治療を説明できる。
G10	全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、悪性関節リウマチの病態と分類を理解し症候と治療を学ぶ。			
担当	岸田大			
授業日	第 11 回	7月 7日(火3)	SB0s	E-4-3)-(4) E-4-3)-(5)
講義室	医学科第2臨床講堂			皮膚筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎疾患、悪性腫瘍）を説明できる。 全身性血管炎を分類/列挙し、その病態、症候、診断と治療を説明できる。 ベーチェット病の症候、診断と治療を説明できる。
G10	皮膚筋炎・血管炎・ベーチェット病の病態と分類を理解し症候と治療を学ぶ。			
担当	岸田大			
授業日	第 12 回	7月 8日(水5)	SB0s	D-3-4)-(8)
講義室	医学科第2臨床講堂			母斑の語源と定義を説明できる。 母斑の病因を遺伝的モザイクの概念で説明できる。 上皮性母斑、メラノサイト系母斑、間葉系母斑の主なものを説明できる。 後天性色素細胞母斑と「ほくろ」の本態と組織発生を説明できる。 主要な母斑症について主要症状と遺伝子異常を説明できる。 メラニン産生機構の概要を説明できる。 白皮症の種類と病因を説明できる。 尋常性白斑の特徴と病因、治療法を説明できる。 色素沈着をきたす主な疾患を説明できる。
G10	皮膚科特有の概念である母斑・母斑症とは何かを理解し、また色素異常症の種類と病因を修得する。			
担当	御子柴飛鳥			
授業日	第 13 回	7月 8日(水6)	SB0s	D-3-4)-(2) D-3-4)-(3)
講義室	医学科第2臨床講堂			多形滲出性紅斑の原因、症候と治療を説明できる。 結節性紅斑とバザン硬結性紅斑の原因、症候と治療を理解し、両者を鑑別できる。 ベーチェット病、Sweet病を概説できる。 紫斑を呈する疾患の原因、症候と病態を説明できる。 壊死性血管炎、肉芽腫性血管炎の分類および原因、症候、治療を説明できる。
G10	1) 紅斑症の原因、症候と治療を学ぶ。 2) 紫斑を呈する疾患の原因、症候と病態を学ぶ。 3) 皮膚血流障害と血管炎の原因、症候と治療を学ぶ。			
担当	小川英作			
授業日	第 14 回	7月10日(金1)	SB0s	D-3-4)-(7)
講義室	医学科第2臨床講堂			ざ瘡、毛のう炎、せつ、カルブンクル、化膿性汗腺炎の鑑別ができ、それぞれの主な原因菌と治療法が説明できる。 溶連菌感染症、SSSSの病態、治療が局所、全身にわけて説明できる。 丹毒、蜂窩織炎、壊死性筋膜炎の診断、鑑別診断、検査法について説明ができ、それぞれの治療法を時間経過にそって説明できる。 結核疹、非定型抗酸菌症、ハンセン病の分類、臨床およびそれぞれの治療について説明できる。 梅毒の臨床について説明でき、疑った時の検査および診断時の検査、治療計画が立てられる。
G10	局所的、全身的な一般細菌感染症、結核疹、ハンセン病および梅毒の診断、治療について理解する。			
担当	芦田敦子			
授業日	第 15 回	7月10日(金2)	SB0s	D-6-4)-(5)
講義室	医学科第2臨床講堂			皮膚萎縮症をきたす疾患を列挙し、病態と診断を説明できる。 非感染性肉芽腫をきたす疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。 サルコイドーシスの皮膚における症候を列挙し、診断を説明できる。 Ehles-Danlos症候群、弾力線維性仮性黄色腫の病態、症候、診断を説明できる。 アミロイドーシス、ムチン沈着症、黄色腫、ポルフィリン症の病態、症候、診断を説明できる。 皮下脂肪織炎をきたす疾患を列挙し、病態、診断、治療を説明できる。 内分泌疾患のデルマドロームを説明できる。 肝疾患のデルマドロームを説明できる。 腎疾患のデルマドロームを説明できる。 糖尿病のデルマドロームを説明できる。 血液疾患のデルマドロームを説明できる。 呼吸器疾患のデルマドロームを説明できる。 内臓悪性腫瘍のデルマドロームを説明できる。
G10	1) 真皮・皮下脂肪織の疾患の病態、症候、診断、治療を学ぶ。 2) 沈着症、代謝性疾患の病態を理解し、皮膚における症候と診断を学ぶ。 3) 様々な内臓疾患に伴って現れる皮膚症状（デルマドローム）を学ぶ。			
担当	枝光智大			
授業日	第 16 回	7月10日(金3)	SB0s	自習
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10				
担当	奥山 隆平,小川 英作,岸田 大			

授業日	第 17 回	7月13日(月 5)	SB0s	D-3-4)-(7) E-2-4)-(1) E-2-4)-(3) 白癬症、皮膚粘膜カンジダ症、癩風、クロモミコーシス、スポロトリコーシスの病態、診断、治療について説明できる。 ツツガムシ病、日本紅斑熱、ライム病、疥癬の病態（特に診断上有用な臨床所見）、診断方法、治療について説明できる。 ウイルス性発疹症の血清およびウイルス学的診断法について説明できる。 ヘルペスウイルス群、ヒト乳頭腫ウイルスによる皮膚粘膜疾患を説明できる。 麻疹、風疹、手足口病、伝染性紅斑などのウイルス性発疹症の臨床像を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	皮膚病変を起こす真菌症、リケッチア、原虫、ウイルス性疾患の病態、診断法、治療について学ぶ。			
担当	皆川茜			
授業日	第 18 回	7月13日(月 6)	SB0s	C-4-5) D-3-2) D-3-4)-(8) 皮膚エコー、ダーモスコープなどの画像機器を用いた検査法の意義を説明できる。 光線テストや発汗検査法について概説できる。 皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内反応、パッチテスト）を説明できる。 KOH法、細菌真菌培養法、スピロヘータ検出法を概説できる。 内服療法の適応を理解し、説明できる。 軟膏療法の適応を理解し、説明できる。 創傷治癒について理解し、説明できる。 皮膚外科治療の実際について理解し、説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	1) 画像機器を用いた皮膚の検査法について学ぶ。 2) 皮膚検査法（光線テスト、発汗検査法、プリックテスト、皮内反応、パッチテストなど）について学ぶ。 3) 皮膚科で汎用される微生物検査法について学ぶ。 4) 軟膏療法、皮膚外科治療法の実際、創傷治癒について学ぶ。			
担当	皆川茜			
授業日	第 19 回	7月27日(月 4～5)	SB0s	復習と知識の整理のために試験を実施する。授業のふりかえりを入力する。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0				
担当	北村昇矢			